

記 事

例会案内

日本医史学会 10月例会

令和5年10月28日(土)

対面・オンラインハイブリッド開催(予定)

- 1. 「明治期『虎列刺病流行紀事』の変遷」  
竹原万雄(東北大学)

明治時代, コレラが流行した年には内務省衛生局や各府県で『虎列刺病流行紀事』を作成しました. その記載項目の分析からコレラ対策の変遷を追究します.

- 2. 第35回矢数医史学賞 受賞記念講演  
『『ツベルクリン騒動—明治日本の医と情報—』: 自著を語る』  
月澤美代子(順天堂大学/M-医学史・科学史研究室)

日本医史学会 11月例会

令和5年11月25日(土)

対面・オンラインハイブリッド開催(予定)

- 1. 第29回富士川游学術奨励賞 受賞記念講演  
「植民地・占領地の環境適応と生活科学—京都帝国大学戸田衛生学教室を中心に」  
末永恵子(福島県立医科大学)

戸田正三京都帝国大学衛生学教授一門の研究と, 日本の植民地政策や戦争とがどのように関係していたのかを検証する.

- 2. 第35回矢数医史学賞 受賞記念講演  
「受賞作『相馬事件』のこと」  
岡田靖雄(青柿舎(精神科医療史資料室))

以上は変更の可能性がありますので, 必ず開催直前に医史学会のサイトをご確認ください. また, 12月以降についても確定し次第, 同サイトでご案内いたします.



<http://jshm.or.jp/events.html>

10月から対面とオンライン(Zoom)のハイブリッド開催への移行を予定しております. 詳細については, 日本医史学会事務局([office@jshm.or.jp](mailto:office@jshm.or.jp))にお問い合わせください.

また, 本例会でのご発表を随時募集しております. ご希望の方は, 演題・希望する月を明記の上事務局(同前)までご連絡下さい. 原則として発表者は会員に限ります.

例会記録

日本医史学会 3月例会

令和5年3月25日(土)

オンライン開催

- 1. 「華岡流麻酔法の終焉と吸入麻酔の普及にお雇い外国人医師が果たした役割」  
牧野 洋(浜松医科大学附属病院麻酔科蘇生科講師)
- 2. 「味岡三伯の薬効論と近世日本の薬物書」  
吉川澄美(東京都)

日本医史学会 4月例会

令和5年4月22日(土)

オンライン開催

- 1. 「レブラと奇跡 脱神話化と脱医学化に向けて」  
堀 忠(関西学院大学大学院神学研究科研究員)
- 2. 第28回富士川游学術奨励賞 受賞記念講演  
「明治初期の種痘再考—岡山と千葉の比較から」  
松村紀明(帝京平成大学/順天堂大学)